

### 1. 評価結果概要表

**【評価実施概要】**

事業所番号	4071401097
法人名	有限会社 中山メディカルサービス
事業所名	グループホーム おあしす ありた
所在地	福岡県福岡市早良区有田6丁目2-5 (電話) 092-801-1122

評価機関名	福岡県社会福祉協議会		
所在地	福岡県春日市原町3-1-7		
訪問調査日	平成20年1月24日	評価確定日	平成20年3月11日

【情報提供票より】 (平成20年1月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 4月 1日
ユニット数	3 ユニット
利用定員数計	27 人
職員数	25 人
常勤	20人
非常勤	5人
常勤換算	21人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	2 階建ての 1 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	(有) (200,000 円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり	円		

(4) 利用者の概要 (平成19年10月31日現在)

利用者人数	27 名	男性	7 名	女性	20 名
要介護1	9 名	要介護2	8 名		
要介護3	8 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.9 歳	最低	68 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	中山整形外科医院 油山病院 牟田病院
---------	--------------------

**【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】**

閑静な住宅街に位置し、道路を挟み高校が隣接している。事業所1階にはデイサービスセンターが併設されている。母体が医療機関であり、他の診療科の往診、緊急時の医療相談体制が整っている。開設以来、近隣の高校や小・中学校との交流をはじめ、昨年はチャリティーバザーを事業所内で行い、楽しみながら地域との交流を図っている。法人外の施設での研修を実施する等、職員教育にも力を入れている。

**【重点項目への取組状況】**

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題については「地域活動への参加」「人材育成」等について年間計画を作成し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は各ユニットで会議を開き、全職員で取り組んでいる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議を定期的に行い、サービスの実態や評価の取り組み状況等を報告している。会議で提供された高齢者虐待等の情報を、サービス向上に活かしている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)</p> <p>定期的に家族会を開催して、運営内容や外部評価、職員異動等を報告し、来訪時だけでなく、家族から意見や不満等を聴取するよう努めている。第三者相談窓口については明文化し、家族に説明している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会や自治会への参加、近隣の学生等のボランティア受け入れを行っている。近隣の住民に物品提供や参加の協力を得てチャリティーバザーを事業所内で行い、地元の人々と交流することに努めている。</p>

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>【I 理念に基づく運営】</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域の住民との交流の基に、穏やかな気分で、安心して、信頼される、素晴らしい介護を目指す」とした事業所独自の理念を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を実践するため毎日朝礼で唱和し、月1回のミーティング時等で話し合いをしている。		
<b>2. 地域との支え合い</b>					
3	5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会や自治会への参加、近隣の学生等のボランティア受け入れを行っている。近隣の住民に物品提供や参加の協力を得てチャリティバザーを事業所内で実施し、地元の人々と交流することに努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は各ユニットで会議を開き、全職員で取り組んでいる。前回評価での改善課題については「地域活動への参加」「人材育成」等について年間計画を作成し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的開催し、サービスの実態や評価の取り組み状況等を報告している。会議で提供された高齢者虐待等の情報を、サービス向上に活かしている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	相談や近況報告等で地域包括支援センターや行政に度々行き来する機会を持っている。		
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	一部職員が外部研修に参加し、その他の職員には内部研修を行っている。入居時や必要時に制度について、家族・利用者に説明している。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
8	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回、事業所便りを発行し、家族へ送付している。来訪時や電話連絡をする際に、暮らしぶりや健康状態等を家族に報告している。利用者が手紙を出す支援をしたり、来訪時に日々の様子が解かるように写真を掲示して、希望があれば配布している。月1回、金銭出納表を送付している。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に家族会を開催して、運営内容や外部評価、職員異動等を報告し、来訪時だけでなく、家族から意見や不満等を聴取するよう努めている。第三者相談窓口については明文化し、家族に説明している。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の退職に伴い、ユニット間での調整異動等を行っている。引き継ぎには十分な時間を取っている。利用者に対しては、現任職員でフォローする声かけを行い、新任職員には、利用者の情報提供やユニット長等の補佐で対応し、できるだけダメージを軽減するようにしている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
11	19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の採用にあたっては、年齢、性別等での排除は行っていない。施設長及び管理者は、人材の育成に熱意をもっており、年度目標を掲げ、年間研修計画等を作成し、職員育成に努力している。</p>		
12	20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>一部職員が外部研修に参加して、他の職員に対して内部研修を行っている。人権教育に関する資料がある。</p>		
13	21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間の研修計画を立て、外部研修に参加させ、その内容を各ユニット会議で研修していく体制を取っている。法人外の4つの事業所へ隔月4回、4人の職員を研修に出して、介護の技術や視点を学ばせている。また資格奨励金を設け、積極的に資格取得をすることを勧めている。</p>		
14	22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人外の事業所への研修や各団体の研修参加によって、他施設職員との人事交流を図っている。</p>		
<b>【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前の体験利用によって利用者・家族共に納得したうえで、利用契約を結んでいる。即利用になった場合は、利用者のもとへ出向いて情報を得るようにして、不安の軽減に努めている。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>調理を一緒に行い、調理方法や味付け等職員が知らない料理方法を教えてもらっている。小鳥の餌付けをしている利用者と一緒に野鳥の観察を行ったり、植物を一緒に育てる等、利用者から学びながら、支援している。</p>		
<b>【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は利用者の思いや希望を、日常会話から把握し、本人に確認している。意志が伝えにくい人に対しては、生活歴や家族からの情報を基に、利用者の意向の把握に努めている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者・家族及び職員の意見や気づきを反映した個別具体的な介護計画を作成している。介護計画は、家族の署名、押印がある。</p>		
19	39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>基本的には3ヶ月毎に見直し、入所初期は1ヶ月後に行っている。利用者の身体の状態の変化に合わせて、現状に即した見直しを行っている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応し、入院した際は担当の職員が見舞い、家族や医療関係と連絡を取りながら、早期退院に取り組んでいる。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	通院や送迎等、家族の要望や必要に応じて、医療機関と連携を取り、個別支援を行っている。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期の在り方については、利用者や家族等の意向を大切にしながら、かかりつけ医、職員、家族等で話し合いを行っており、理解を得ている。		
<b>【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の意志を尊重し、プライバシーに配慮した言葉かけが行われている。またミーティングや内部研修により、常に職員の意識の向上をはかっている。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の大まかなスケジュールはあるが、利用者の希望やその時々に合わせて、散歩や買い物、入浴等支援している。		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員は、一緒に準備や食事、片付けを行っている。食事は同一テーブルで、利用者と同じ物を楽しんで食べている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
26	59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>大まかな入浴時間の設定はあるが、利用者に応じて柔軟に対応している。入浴拒否する人には、朝、黒板に大きく入浴日であることを書き、その人に応じた言葉かけで入浴を楽しんでもらう等の工夫をして支援している。</p>		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
27	61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>ベランダで野鳥に餌付けをする、観葉植物への水やり、絵画、調理等利用者一人ひとりが役割を持ったり、楽しみ事ができる支援をしている。食後は利用者が様々に、自由に楽しんでいるのを職員は見守っていた。</p>		
28	63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>利用者の希望にそって、外出や買い物等の支援をしている。外出の意志が乏しい利用者にも、少しずつ外出できるような支援をしている。</p>		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
29	68	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>鍵をかけないケアに取り組んでおり、日中は居室や玄関は施錠していない。近所の人にも理解を求め、見守りや声かけの協力を得ている。</p>		
30	73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難マニュアルを作成し、年2回、消防署の協力を得て、職員・利用者で訓練を実施している。家族や地域住民にも呼びかけを行っている。また、非常用食料や飲料水、備品等を準備している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
31	79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>各ユニットで栄養バランスを考えた献立を立て、全利用者の栄養・水分摂取量を把握している。栄養士に栄養バランス、献立等の助言を受けている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
32	83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は、家庭的な雰囲気の家具等をしつらえ、外光を適度に取り込んでいる。テーブルには様々な色のバラの花や季節の飾り物を飾ったり、ソファを配置する等して、居心地よく過ごせる工夫をしている。</p>		
33	85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室のフローリングの床は、本人の希望で畳を敷いたり、仏壇や使い慣れた家具が持ち込み、居心地良く過ごせるような工夫をしている。</p>		

※      は、重点項目。